

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

とよかわ流「スポーツ合宿と賑わいのグローアップ」推進プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

豊川市

3 地域再生計画の区域

豊川市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

【人口の将来減とそれに伴う地域経済の衰退の可能性】

本市の人口は、直近の国勢調査では平成22年（2010年）の181,928人から平成27年（2015）に182,436人と微増（+508人）となっているものの、平成20年（2008年）の183,259人をピークとして、平成52年（2040年）には、158,772人まで減少（-24,487人）すると予測（国立社会保障・人口問題研究所推計）され、その後も緩やかに人口減少が続くと見込まれる。

「地域経済分析システム（RESAS）」における「地域経済循環マップ」の全国798位と中位に位置している本市の一人あたりの付加価値額の4割は製造業で、本市の現在の産業の強みとなっているが、今後の人口減少、国際的な競争が厳しくなっていく状況下では、製造業に過度に依存しては、地域経済が縮小していくことが懸念されるため、産業の多様性を持たせていくことが必要である。

一方で、本市の企業数では製造業833社（16.3%）の第2位に対し、第1位の卸売業・小売業1,233社（24.1%）、第4位の宿泊業・飲食サービス業598社（11.7%）、第5位の生活関連サービス業・娯楽業565社（11.0%）の順となっており、多くの第3次産業の企業がある。これら既存の企業という地域資源を生かした第3次産業の多様性への展開が本市の地域経済の縮小を防ぐ手段であるといえる。

【民間消費支出の域外消費が高い】

「地域経済循環マップ」によると、民間消費支出における域外消費が多く、

全国1,119位の下位レベルである。これは地域で日常的な買い物がされていない、特に商業、観光が弱く、地域で消費されていない可能性がある。一方で、民間投資（企業の設備投資）では全国314位と地域外からの投資がされており、製造業を中心とした本市の産業構造を裏付けている。

本市の付加価値額や税収を支える根幹は製造業で間違いない。しかし、商業、観光関連産業である宿泊業・飲食サービス業に着目してみると、付加価値額こそ市産業全体の755億円の1/16である47億円だが、従業者数で見ると、第1位の製造業28,021人、第2位の卸売業・小売業13,916人と続く第3位の5,886人であり、雇用を支える効果は大きい。観光面において来訪者の目的となる魅力あるイベントや、豊川海軍工廠平和公園、さらには今後控えるスポーツ公園の整備などの新たな地域資源の創出という好機を持つ本市にとっては、宿泊業・飲食サービス業の活性化は、資源と連携した産業の多様性を持たせるという本市の課題を解決しうるものである。

【来訪者の近隣かつ日帰り観光の特性】

RESASによると、本市の宿泊者数は6.7万人であり、そのうち都道府県別に見ると東京都9,487人（14.04%）、神奈川県5,809人（8.59%）、大阪府5,322人（7.87%）の順となっているが、豊川稲荷などの観光地があるにも関わらず、近隣の蒲郡市（148.1万人）、田原市（31.1万人）、豊橋市（24.6万人）、岡崎市（10.0万人）と比べ少ない状態である。

来訪者が宿泊する経済効果は大きく、宿泊代や飲食、土産といった消費額の大きい宿泊者を取り込むためには、宿泊者を呼び込むことのできる新たな地域資源の発掘や回遊性の向上、既存資源の磨き上げが必要である。

4-2 地方創生として目指す将来像

日本三大稲荷のひとつとして知られ、年間500万人を超える参拝者が訪れる豊川稲荷や、本市で最も来園者数の多い赤塚山公園および中心市街地の立地を生かせる豊川公園といった本市の地域資源を活用して、賑わいを創出するまちづくり団体など多様な主体と連携しながら、新たな「スポーツ合宿プランの造成」とイベント開催による地元農産物の販路開拓などを一体的に推進する事業が連携したパッケージを創出するプロジェクトを実施することで、第3次産業の多様性および活性化による交流人口の増加を図り、人口減少下にあっても活力あるまちづくりへとつなげていくことを目的とするものである。

【数値目標】

	事業開始 前 (現時 点)	H30年 度 増加分 1年目	H31年 度 増加分 2年目	H32年 度 増加分 3年目	KPI 増加分の累計
スポーツ合宿による延べ宿泊者数 (人)	0	0	100	200	300
スポーツ合宿プランの 造成(組)	0	0	1	2	3
コミュニティバス年間 利用者数 (千人)	93.46	5.51	5.51	5.52	16.54

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

産業構造の多様化のために、現在は弱みである日帰り客が多く、宿泊者が少ないという課題の克服を柱とした総合的なまちづくりを行い、交流人口の獲得、地域消費の拡大を図りながら、同時に本市の強みでもある「スポーツ」を連携させることで、賑わいと回遊性を高める取組を段階的に進めていく。

地域資源の磨き上げとまちづくり団体との連携による相乗効果、新たなコンテンツの開発による魅力創出を行う。

■スポーツ合宿支援事業とプロモーション

■賑わい創出のための新たなイベント支援およびまちづくり人材の育成

■回遊性を高めるコミュニティバスロケーションシステムの構築

そのほか、独自の取組として、各種マラソン大会とご当地グルメなどが連携した魅力あるイベントの開催および陸上競技場夜間照明整備事業を行い、交流人口の増加に取り組む。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金(内閣府):【A3007】

① 事業主体

豊川市

② 事業の名称： とよかわ流「スポーツ合宿と賑わいのグローアップ」推進プロジェクト

③ 事業の内容

産業構造の多様化のために、現在は弱みである日帰り客が多く、宿泊者が少ないという課題の克服を柱とした総合的なまちづくりを行い、交流人口の獲得、地域消費の拡大を図りながら、同時に本市の強みでもある「スポーツ」を連携させることで、賑わいと回遊性を高める取組を段階的に進めていく。

まちづくりの方向性としては、地域資源の磨き上げとまちづくり団体との連携による相乗効果、新たなコンテンツの開発による魅力創出を行う。

■スポーツ合宿支援事業とプロモーション

本市の地域資源を活用した複数のスポーツ合宿プランを観光協会などの民間と連携・構築し、本市のスポーツ施設を利用する大学、高校などスポーツ団体からの合宿受入を一体的に支援する。

- ・日本三大稲荷のひとつとして知られる豊川稲荷の宿泊施設である「宿坊」を、祈祷と併せて宿泊できる「(仮称) 体と心を鍛え、願掛けも併せて実践できるご利益スポーツ合宿プラン」を構築し、遠方からの合宿の認知度を高める魅力を創出する。
- ・豊川公園にある陸上競技場、野球場、庭球場および総合体育館が近くにあるという中心市街地の立地を生かし、それらを利用するスポーツ利用者の誘客推進を図る「(仮称) 競技力向上スポーツ合宿プラン」を構築し、屋内・屋外競技の受入を行うとともに、公園に隣接するプラネタリウムを活用した臨場体験映像を組み込み、フォームチェックなどの合宿の付加価値を取り入れた新たな場でのプランを創出する。
- ・市民のスクエアおよびスポーツ公園、水族館など賑わいのある赤塚山公園隣接という立地を生かし、賑わい施設が隣接していることをPRするとともに、近距離でサッカーなどの2面開催も可能であることも生かして、複数団体の受入や交流試合を備えた「(仮称) 交流試合スポーツ合宿プラン」を創出する。

このような段階的なスポーツ合宿プランの造成とともに大学、プラネタリウム施設へのプロモーションを行うことで、多くのスポーツ団体のニーズにマッチングする事業を展開し、交流人口の拡大を図る。

事業を通じて実績をつくり、民間会社がツアーなどを自立してできるようにする。

■賑わい創出の新たなイベント支援およびまちづくり人材の育成

- ・広域の東三河および市内において、自主開催で多くの参加者を得るイベントを実践しているノウハウある団体と連携し、豊川公園などの会場提供と併せて、企画・立案・運営費を支援するとともに、スポーツ合宿や大会と同時展開することで中心市街地の活性化を図る。
- ・イベントの実施にあたっては、地元農産物を活用した千両芋（千両会）と、公園・河川など公共空間に対し市民や企業などが市と取りきめのもと清掃活動などを行う「アダプトプログラム」の活動団体との連携や、陸上競技場外周でのウォーキング教室による健康づくり活動などの要素を取り入れ、スポーツ合宿や来訪者への地元農産物のPRおよび販路拡大を実施する。
- ・イベント開催で運営の賛同者（＝まちづくり仕掛け人）となる人材の育成も組み込んだ、将来にわたって賑わいを創出する継続性も視野に入れたイベントを実施する。

■回遊性を高めるコミュニティバスロケーションシステムの構築

スポーツやイベントへの参加者（ターゲット）となるスマートフォン世代の特性を生かし、コミュニティバスの経路検索と運行情報機能を持たせ、バスの利便性を高めるとともに、豊川海軍工廠平和公園など本市に点在する地域資源へとアクセスする移動手段の向上を図る。

④ 事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

屋内、屋外競技を問わず多種目のスポーツを目的として来訪する会場周辺に新たなイベントを創出し、継続開催することで、出店者の販路拡大、販売額上昇へとつながり、将来的にはイベントの自主開催が可能となる。

また、立地や本市を代表する地域資源の特性を生かした宿泊施設ごとに連携したスポーツ合宿プランの開始により宿泊者数の増加が見込まれ、4年目以降、観光協会、旅行代理店などによる自主運営が可能となる。

【官民協働】

スポーツ合宿では、来訪者の視点に立った宿泊プランの企画・立案ができるよう、宿泊施設、体育施設指定管理事業者およびイベントを実施するまちづくり団体などの各機関との連携を密にして、地域を挙げて取り組むとともに、総合計画のまちづくりの基本方針として位置づけている「シティ

セールス」を推進する中で、地元農産物を主軸とした「とよかわブランド」などのPRを民間と協力して行う。

これらの情報提供およびイベント開催などを、スポーツ合宿の利用団体時などを捉えた効果的なPRを実施することにより、スポーツ目的から再来訪へとつなげる機会創出、販路開拓、収益上昇へと好循環を創出する。

【地域間連携】

愛知県および周辺自治体では、スポーツと観光に関する地方創生の取組を推進していることから、本プロジェクトの推進にあたっては、周辺自治体との事業連携について情報共有・意見交換を行い、さらなる交流人口の増加に資する取組実施を検討する。

【政策間連携】

農業の担い手育成支援策、本市の特産品であるバラ・大葉・トマト・いちごなどに関する商品の6次産業化策や、観光おもてなし人材育成における企業と連携した資源探訪ツアーとスポーツ合宿を行う大学やプラネタリウム施設などへの都市圏プロモーション事業が連携し、商品や地域のPRを併せて行うなどのシティセールスによる交流人口の増加、販路開拓および雇用創出について一体的に取り組む。

⑤ 重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始 前 (現時 点)	H30年 度 増加分 1年目	H31年 度 増加分 2年目	H32年 度 増加分 3年目	KPI増加分の累計
スポーツ合宿による延べ宿泊者数(人)	0	0	100	200	300
スポーツ合宿プランの造成(組)	0	0	1	2	3
コミュニティバス年間利用者数	93.46	5.51	5.51	5.52	16.54

(千人)					
------	--	--	--	--	--

⑥ 評価の方法、時期及び体制

【検証方法】

毎年度、9月頃を開催する「豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」による効果検証を行い、効果の測定を実施する。また、議会による検証として、政策課題調査特別委員会において検証結果を報告し、前年度の事業進捗度とKPIにより、評価を実施する。

戦略会議および議会における評価を受け、見直しを行うとともに翌年度の予算編成を行う。

【外部組織の参画者】

産：豊川商工会議所、豊川青年会議所、豊川ビジョンリサーチ、ひまわり農業協同組合、豊川市観光協会

学：愛知大学、豊橋創造大学短期大学部

金：豊川信用金庫

労：連合愛知三河東地域協議会

言：東海日日新聞社

その他：NPO法人とよかわ子育てネット

官：豊川市

【検証結果の公表の方法】

豊川市ホームページにて事業実施結果および検証会議の内容を公表する。

⑦ 交付対象事業に要する経費

・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 31,260千円

⑧ 事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日（3カ年度）

⑨ その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成33年3月31日まで

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況に係る評価の手法

【検証方法】

毎年度、9月頃に開催する「豊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」による効果検証を行い、効果の測定を実施する。また、議会による検証として、政策課題調査特別委員会において検証結果を報告し、前年度の事業進捗度とKPIにより、評価を実施する。

戦略会議および議会における評価を受け、見直しを行うとともに翌年度の予算編成を行う。

【外部組織の参画者】

産：豊川商工会議所、豊川青年会議所、豊川ビジョンリサーチ、ひまわり農業協同組合、豊川市観光協会

学：愛知大学、豊橋創造大学短期大学部

金：豊川信用金庫

労：連合愛知三河東地域協議会

言：東海日日新聞社

その他：NPO法人とよかわ子育てネット

官：豊川市

7-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始 前 (現時)	H30年 度 増加分	H31年 度 増加分	H32年 度 増加分	KPI 増加分の累計

	点)	1年目	2年目	3年目	
スポーツ合宿による延べ宿泊者数(人)	0	0	100	200	300
スポーツ合宿プランの造成(組)	0	0	1	2	3
コミュニティバス年間利用者数(千人)	93.46	5.51	5.51	5.52	16.54

7-3 目標の達成状況に係る評価の公表の手法

豊川市ホームページにて事業実施結果および検証会議の内容を公表する。